

# 資料編

# 第1回 新潟市スポーツ施設の未来構想会議

～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

## 配布資料

【日 時】令和5年6月6日（火）13時45分～

【会 場】新潟市役所 本庁舎6階 議会第5委員会室

## 新潟市スポーツ施設の未来構想会議について

副題 ～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

### 背景

- 新潟市体育館や鳥屋野運動公園野球場といったスポーツ施設は、建築後約60年が経過し、老朽化が進んでいる状況
- 市民やスポーツ団体などからは大規模アリーナ等の設置を求める声
- これからのスポーツ施設の改修を考えるにあたっては、スポーツイベントの開催はもちろん、施設を活用してまちの賑わいを作り出す視点も必要

### 開催目的

- 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設のあり方についての提言をいただき、将来的に、県など関係機関と連携しながら今後の施策に活かしていく。

### 副題について

スポーツが、まちの賑わいを生み出し、  
スポーツが、拠点化・活性化に寄与していく、  
そのような「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設の「未来」を描く

### ※新潟市スポーツ推進計画 第3次「スポ柳都にいがた」プランより

- 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりとして、本市の拠点性を活かしたスポーツ施設のあり方を検討。
- スポーツを活かしたまちづくりに向けて、ナショナルレベルの大会や合宿等を積極的に誘致し交流を推進。

## 公共施設の現状

- ・施設の老朽化と改修・建て替え費用の増加  
⇒ 今後50年間で約9,000億円
- ・厳しい財政状況と人口減少による負担増加  
⇒ 年間970億円の維持管理費用

施設再編の  
必要性

## 財産経営推進計画

### 基本方針編

インフラ資産や公共施設について、その老朽化や利用需要の変化などの課題に対し、効率的な管理・利活用など経営的な視点に基づき取り組む

### 公共施設マネジメント編

2つの基本方針

#### 総量削減

- ・ 需要に見合った施設規模で更新
- ・ 集約化や統廃合などを検討

#### サービス機能の維持

- ・ 単一目的の施設から多機能化・複合化施設へ

4つの柱

- 施設の最適化（単一目的から多機能施設へ）
- 施設の長寿命化（計画的な保全、ユニバーサルデザイン）
- 歳出の削減（更新時の規模適正化、効率的運営）
- 歳入の確保（使用料見直し）

計画の着実な推進  
（施設再編）  
に向けて

公共施設の種類ごとの  
配置方針の策定

## 公共施設の配置方針（スポーツ施設編）

圏域Ⅰ施設	・国際規格である等、全県的に見て高機能 (新潟市陸上競技場, 新潟市アイスアリーナ)
圏域Ⅱ施設	・1～3区で利用が想定される (鳥屋野運動公園, 鳥屋野総体, <b>新潟市体育館</b> )
圏域Ⅲ施設	・利用主体が地域住民

### 課題

- ・昭和39年の新潟国体前後に整備された施設を中心に老朽化
- ・人口一人あたりの施設数が政令指定都市で最多
- ・スポーツ施設の役割が変化する中で、多機能化・複合化
- ・集約化などによる全体的な総量削減

### 今後の施設配置の方向性、運営改善の方向性

①運営上の工夫	②多機能化・複合化	③集約化
コスト見直し (10%運営経費削減)	コミュニティ系などと	スポーツ施設種別 ごとの集約化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域Ⅰ施設は、適切に維持</li> <li>・圏域Ⅱ施設は、低利用・老朽化などの課題がある場合は、近隣施設の集約を基本</li> </ul>		

## 再編（案）の進捗状況

### スポーツ施設全般

- ・新潟市スポーツ協会からは、「再編案の検討を進めるには、市がスポーツ施設にかかるビジョンを示すことが必要」と要請があった。



# 同規模政令市 公共施設数（令和元年2月時点）

新潟市スポーツ施設の未来構想会議 資料3

10万人あたりの施設数

	人口 (R5.4.1)(人)	スポーツ施設	図書館	レク施設	高齢者施設	子育て施設	大ホール	コミュニティ施設
千葉市	978,064	4.81	1.53	0.1	1.74	0.61	0.51	6.85
相模原市	724,724	1.38	0.55	1.52	1.1	6.62	0.69	5.8
静岡市	679,107	5.6	1.77	1.77	2.36	2.36	0.59	6.33
浜松市	780,538	5.77	2.31	1.28	2.05	0.51	2.43	6.66
堺市	813,153	4.18	1.48	0.37	0.86	1.35	0.98	1.23
岡山市	716,253	7.26	1.4	0.28	3.07	3.21	1.12	12.15
北九州市	917,524	10.24	1.74	4.25	18.09	4.8	0.98	17.55
熊本市	736,245	5.3	2.72	0.81	20.51	2.04	1.36	13.45
<b>新潟市</b>	<b>774,383</b>	<b>10.59</b>	<b>5.04</b>	<b>2.71</b>	<b>6.07</b>	<b>3.1</b>	<b>1.94</b>	<b>15.24</b>

## スポーツ施設の現状

- ・新潟市体育館や鳥屋野運動公園野球場など、昭和39年の新潟国体前後に造られ、長年にわたって市民から親しまれてきた施設では、老朽化や現在の施設基準を満たさない施設もあり、大規模な改修などが必要。
- ・スポーツ関係団体などから、既存施設の環境整備や新規施設の設置などの声がある。

## スポーツ施設の配置方針

圏域Ⅰ施設	・国際規格である等、全県的に見て高機能施設	・各種スポーツ協会や団体等の公認を得ている施設
圏域Ⅱ施設	・1～3区の住民からの利用が想定される（圏域Ⅰ、Ⅲ施設の定義に該当しない施設）	
圏域Ⅲ施設	・利用主体が地域住民である施設	

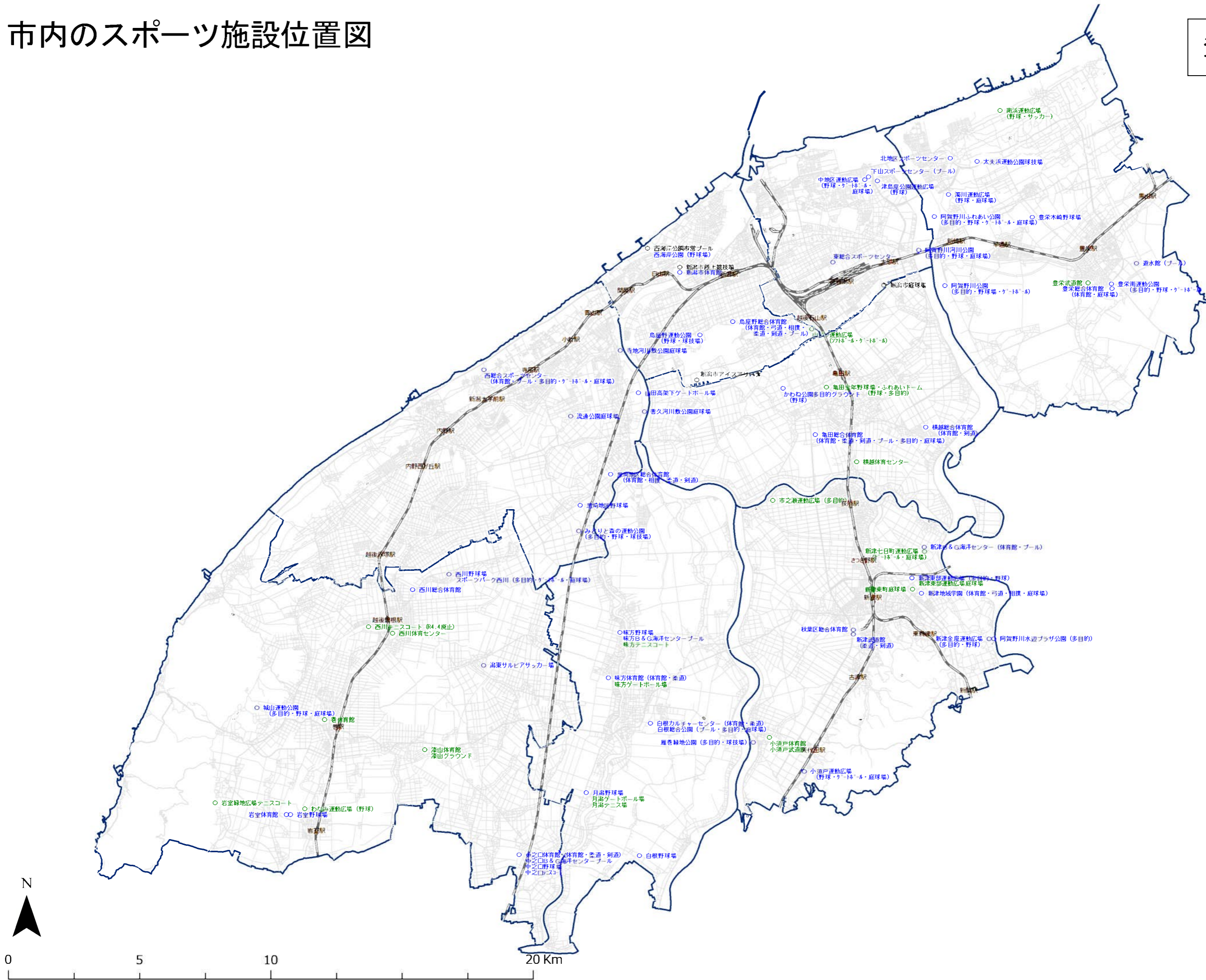
## スポーツ施設数

※新潟市公共施設の種類ごとの配置方針（財産活用課作成）より

スポーツ施設種別	施設数（145）	圏域施設別の内訳		
		Ⅰ（4）	Ⅱ（117）	Ⅲ（24）
グラウンド（多目的運動広場）	17		14	3
グラウンド（野球場・ソフトボール場）	27		23	4
グラウンド（ゲートボール場）	12		8	4
グラウンド（球技場）	5		5	
体育館（スケート場含む）	23	1	17	5
武道場	12		10	2
プール	10	1	9	
競技場	1	1		
トレーニング場	15		15	
庭球場	23	1	16	6

# 市内のスポーツ施設位置図

資料 4 (補足)



圏域 I  
圏域 II  
圏域 III



## 喫緊の課題として老朽化への対応が必要な施設の概要

	鳥屋野運動公園（野球場）	鳥屋野運動公園（球技場）	鳥屋野運動公園（馬術場）
開設年月日	昭和 38 年 8 月（築 59 年）	昭和 38 年 8 月（築 59 年）	昭和 41 年 8 月（築 56 年）
保全対応	H23 耐震診断で「地震に対し倒壊又は崩壊する危険性が高い」の判定	H20. 4 月に人工芝張替	老朽箇所の小修繕を随時実施。建替えの検討必要
施設写真			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収容人数 14,000 人</li> <li>・ 会議室、応接室、更衣室、温水シャワー室、放送室完備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収容人数 2,000 人</li> <li>・ 人工芝 14,647 m<sup>2</sup></li> <li>・ クラブハウス（ロッカー、ミーティングルーム、温水シャワー室）完備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 馬場 3,476 m<sup>2</sup></li> <li>・ 厩舎（14 馬房）</li> <li>・ 管理棟</li> <li>・ クラブハウス</li> </ul>
年間利用者 (H30 年度)	25,484 人	54,150 人	12,071 人
	新潟市陸上競技場	新潟市体育館	西海岸公園（プール）
開設年月日	昭和 38 年 7 月 15 日（築 59 年）	昭和 35 年 11 月 1 日（築 62 年）	屋外 昭和 42 年 6 月（築 55 年） 屋内 平成 14 年 4 月（築 21 年）
保全対応	耐震補強済み。80 年の耐用に備え修繕等の保全計画あり	耐震補強済み。財活計画で廃止予定施設のため、修繕要求対象外	屋外プールは外壁工事を予定。屋内プールは屋上防水工事を実施済み
施設写真			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 種公認陸上競技場</li> <li>・ 収容人数 18,500 人</li> <li>・ 全天候型トラック、天然芝</li> <li>・ 照明塔、電光掲示板設置</li> <li>・ 補助競技場、トレーニング室完備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収容人数 4,000 人</li> <li>・ 主な可能競技：バスケットボール、バレーボール、テニス各 2 面、バドミントン 8 面、卓球台 24 台</li> <li>・ 2 練習場（武道、卓球など）完備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内：25m×8 コース、25m×6 コース、スライダー、ジャグジー、飛込み</li> <li>・ 屋外：50m×9 コース</li> </ul>
年間利用者 (H30 年度)	236,837 人	85,025 人	127,691 人

## 県への要望「県立アリーナ（大規模屋内スポーツ施設）建設について

平成30年度～ 実施主体：新潟市

「大規模大会の受け皿となり、本県・本市の拠点性向上に大きく寄与する県立アリーナについて、県が主体となって早期に整備を進めること」

## 日本海ドームシティプロジェクトについて

令和4年度 実施主体：民間

「“日本海ドームシティプロジェクト”新潟市民の会」

- ・新潟市にNPBプロ野球誕生と日本海ドームシティの実現を目指す
- ・大きな経済効果を生み、新潟市の価値を高め、持続可能な明るい未来をつくる

## 競技団体アンケートについて

令和4年度 実施主体：新潟市

団体の声を把握するため、市スポーツ協会加盟競技団体等に対してアンケート調査を実施した結果、34団体から回答があり、施設の再編、改修、新設に関する意見が最も多かった。

## 白山公園一帯の検討調査について

令和4年度 実施主体：新潟市

市役所旧分館を含む白山公園付近一帯を対象に、都市の活力の創出に向けた活用について調査を実施。市民や民間事業者に対し行った意向調査では「文化・スポーツ」「公園・憩い・自然」を理想の姿とし、「物販・飲食」「公園・緑」「子育て・遊具」など、既存機能を補完していく施設を望むことへの期待が多く寄せられていた。

## 論点

### 1. 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設とは

- 国際・全国大会や合宿の誘致など、ハイレベルの競技をおこなうことができる高い機能を有する。
- スポーツだけでなく様々なイベントでの活用によって、まちに賑わいが生まれる。
- 本市のみならず県の拠点化・活性化にも寄与できる。

### 2. 想定するエリア

「白山公園」から「鳥屋野潟南部」まで（別紙の資料9を参照）

- 新潟市総合計画2030において、市全体や広域都市圏をけん引する「都心」およびその周辺部にあたる。
- 高次都市機能が集積し活力ある拠点とすることを目指すところ。

### 3. 建設や運営の手法

- PFIなど

### 4. エリアにある同類施設の役割と必要性

- 既存の野球場、体育館、サッカー場など

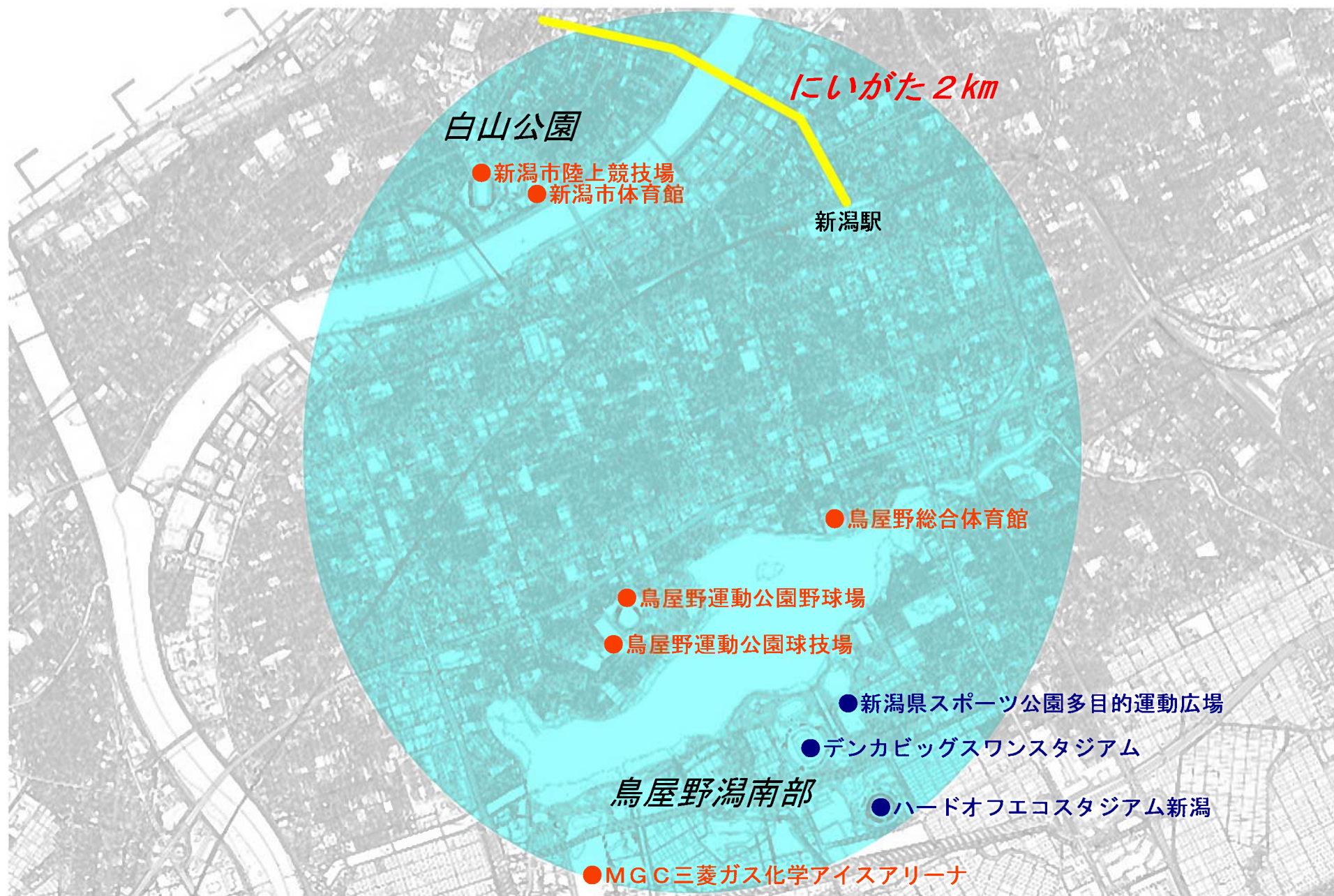
### 5. 交通インフラ

- 渋滞対策、公共交通の充実

## 会議スケジュール

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
6月	7月	9月	11月	1月	3月
現状・目的の共有 論点の確認 先進事例の紹介	県都・政令市にふさわしいスポーツ施設について	同類施設について	建設・運営手法について 交通インフラについて	提言書（案）について	提言書の手交







## 第1回会議で合意した事項など

### 1. 開催目的

- 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設のあり方についての提言をいただき、将来的に、県など関係機関と連携し今後の施策に活用。

### 2. 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設

- 国際・全国大会の開催など、高い機能を有する。
- イベントでも活用、まちに賑わいが生まれ、拠点化・活性化にも寄与。
- 防災拠点（※）の機能も有する。※救援物資や備蓄、要員活動の拠点

### 3. 想定するエリア：提案のとおり

- 「白山公園」から「鳥屋野潟南部」

### 4. 今後議事とする論点：提案のとおり

- 建設や運営の手法
- エリア同類施設の役割や必要性
- 交通インフラ

### 5. 主なご意見

- 拠点性は重要であり、既存の新潟の優位性を伸ばすべき
- 大規模アリーナは必要。見るスポーツの視点も外せない
- 交通アクセスや受け入れ態勢も拠点性の重要な要素
- 県民・市民が普段使いできることも大事
- 住民に配慮した渋滞対策、利用者目線の交通インフラは重要
- 市有施設以外の既存施設（県立や大学）も含めて考える
- コンサートなど次世代に向け様々な活用で新潟をアピール
- 将来像として、施設集合型、パーク型なども考えられる



## 施設の内（白山エリア）

市陸市体跡地にサッカー専用スタジアム  
市陸にオーロラビジョン

出典：ジャパンアスリートトレーニングセンター天隔HP

## 施設の内（鳥屋野北エリア）

球技場はアマ大会が盛ん

## 施設の内（鳥屋野南エリア）

県スポーツ公園付近にアリーナ・野球場  
アリーナで音楽イベント  
白山にサッカー専用スタジアムができたことで、サッカー以外の大規模大会の場  
NTC機能

## 施設の内で見えるもの（共通）

マスコミスペース 飲食設備 観戦しやすい座席配置  
多数の店舗出店可能 トイレの数・動線 全天候型  
バリアフリー 良好ネット環境 デジタルサイネージ  
LED大型ビジョン LEDナイター照明  
世界的な大会の誘致（新しいスポーツも積極的に：ド  
ローンスポーツ、HADOなどのeスポーツの聖地になつた  
らワクワクする）  
世界や国内の有名アーティストのライブ会場として利用  
新潟県内外、海外からの来場  
ホテルが併設されており宿泊が可能  
競技会運営・実施 見学・応援 アマチュア小規模施設

HADO  
出典：一般社団法人  
超人スポーツ協会HP

## 想定するエリアに見えるもの

駅 バス IC 港 空港 クルーズ船  
白山エリアへの交通アクセスはバス・JR  
南部への交通アクセスが大きく改善（モノレール整備の声も）  
新幹線・飛行機からのアクセス充実  
大規模宿泊施設 洒落た飲食店 割烹・寿司  
マルシェ お土産店 観光施設 歴史文化施設  
サイクルポート シェアサイクル  
イベントに合わせて周辺施設もイベント・企画  
→初めて来たお客さまにアピール  
→顧客の獲得（個店の努力が必要）

## 施設の外や周辺に見えるもの

地下鉄 モノレール 駅 バス 大規模駐車場  
託児施設 病院  
物販・飲食ブース 協賛メーカーの販売所  
観光案内所 お土産販売所 高級銭湯  
併設商業施設（飲食） 散歩・周遊コース  
【鳥屋野南】  
外国語案内表示 ウォーキング・ランニング  
子ども自然体験施設・アスレチック施設  
（鳥屋野北との連携も）  
【鳥屋野北】  
球場跡地に公園・駐車場 子育て・健康づくり  
【白山】  
自転車利用

## 施設の外や周辺に見えるもの

イベントの参加者、応援者等の関係者による賑わい  
敷地内に公園を併設し、イベントに合わせてマル  
シェを開催  
公園では、ヨガやちびっこ向けのプールなど屋外で  
のアクティビティも実施

沼垂朝市の様子 出典：沼垂テラス商店街HP



施設の内（白山エリア）

市陸の屋内練習施設が充実



施設の内で見えるもの（共通）

見学したくなる 観光名所 遊べる空間  
 プロスポーツチームの展示物 トレ施設  
 屋内施設（通年）  
 会議室 レンタルルーム 事務所 店舗  
 オフィス 貸倉庫  
 コミュニティ拠点や交通拠点、ショッピングセンター、医療機関、保育・教育機関、オフィスなどが併設→イベントがなくても必然的に人が訪れる施設  
 平日は上記の施設の利用者（例：シニアのサークル活動、放課後の学生の勉強スペース、退社後の買い物など）、休日は若者、家族連れも加わりぎわう  
 スポーツ利用では、  
 【平日】シニア大会 ジュニア強化 個人開放  
 【休日】市民大会 競技会 選抜強化練習



施設の内（鳥屋野北エリア）

トレーニング特化型陸上競技場（全天候通年利用）  
キャンプ実施が盛ん  
市民球場



出典：ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅HP

想定するエリアに見えるもの

駅 バス IC 港 空港 クルーズ船  
 大規模宿泊施設 洒落た飲食店 割烹・寿司 マルシェ  
 お土産店 観光施設 歴史文化施設 喫茶店 映画館  
 アミューズメント施設  
 サイクルポート シェアサイクル  
 イベント時の顧客の獲得→商業の活性化→新たな店舗等の増加→地価の向上  
 スポーツ施設が交通拠点として機能し、訪れやすい場所へ→（上記の商業の活性化もあって）人が集まり場所の価値が向上→注目エリア、人気エリアへ

施設の外や周辺に見えるもの

地下鉄 モノレール 駅 バス 大規模駐車場  
 託児施設 病院 物販・飲食ブース 協賛メーカーの販売所 観光案内所 お土産販売所 高級銭湯  
 併設商業施設（飲食） 散歩・周遊コース  
 公園や周辺環境の改善（緑化、美化）→散歩して楽しい→ウォーカブルなまちへ  
 施設利用者などが公園でランチ、お昼はキッチンカーも  
 【鳥屋野南】  
 県スポーツ公園の拡充に伴うランニングコース延長  
 【鳥屋野北】  
 トレ・キャンプ附属施設（宿泊・食堂・治療）  
 球場跡地に公園・憩いの場と一部売却で宅地化  
 【白山】  
 やすらぎ提と一体のウォーキング・ランニング  
 天候に左右されない多目的スペース  
 親子で楽しめる公園  
 カフェ・レストラン・ショップ



上越での社会実験の様子  
出典：上越タウンジャーナル



**施設の内で見えるもの (共通)**

避難指令所 支援物資保管・配布所  
 避難場所 宿泊可能  
 簡易医療施設 通信施設 太陽光発電  
 デジタルサイネージ (非常時誘導)  
 LED大型ビジョン (非常時緊急情報発信)  
 LEDナイター照明 (非常時利用)  
 建物はZEB※1、再エネも導入  
 再エネによる災害時の電源の確保  
 災害時のホテルの開放※2  
 医療機関の活用※2  
 ショッピングセンターからの物資提供※  
 その他、救援物資の備蓄やボランティアセンターの開設 (人員の集合、派遣等)  
 ※1 Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称  
 ※2 災害協定などで

**想定するエリアに見えるもの**

自衛隊駐屯地 大規模病院  
 ヘリポート  
 救援物資配送拠点機能  
 非常時備品備蓄機能

**施設の外や周辺に見えるもの**

緊急車両駐車場 給水車両駐車場  
 災害時緊急避難道路  
 非常時備品備蓄機能  
 避難施設 貯水施設  
 スポーツ施設への避難等を想定した避難訓練等の実施  
 →地域防災力の向上  
 →自助共助の文化の醸成 (ソフト対策)  
 →防災に限らずコミュニティカの強化に  
 併設されている公園は防災公園として公園は緊急物資を運ぶトラック、自衛隊の車両などが利用可能



出典：京都府「世界の先進的なスタジアム事例紹介」(スタジアム・アリーナ改革推進事業)



潟マルシェ 出典：日刊いがた (WEBタウン情報)







施設の内で見えるもの



施設の外や周辺に見えるもの



想定するエリアに見えるもの





## 1 新潟コンベンションセンター等の利用実績

## (1) 催事の実施状況

令和3年度の催事開催件数は、令和2年度と比較して開催件数で247件増となりました。その内訳は、展示ホール、メインホール、国際会議室のいずれかを利用する大規模催事の件数が前年度比84件増の302件、中小会議室のみを利用する催事が前年度比163件増の492件、全体で247件増加して794件となりました。

会場別の利用日数は、展示ホールが令和2年度と比較して140日増の195日となりました。

会議場はメインホールが45日増、国際会議室が96日増、中会議室は231日増、小会議室も587日増となりました。

一方で新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル等は142件に及び、同感染症の影響が少なかった令和元年度と比較すると開催件数で16件の減少となりました。

また、コンベンションセンターで開催された催事への来場数は438千人となりました。前年度比では開催件数の増加を反映して353千人増となりましたが、令和元年度との比較では、大規模学会等の減少や毎回10万人を集める「にいがた酒の陣」が3年連続中止などの結果、令和元年度比134千人減となりました。

コンサートが年間10～15件  
木金（準備）土日（開催）月（清掃）

## ＜コンベンションセンターの利用日数＞

年度	令和2年度			令和3年度			増減		
	件数	日数	稼働率	件数	日数	稼働率	件数	日数	稼働率
展示ホール	33件	55日	15.8%	62件	195日	56.2%	29日	140日	40.4P
メインホール	153件	170日	48.9%	165件	215日	62.0%	12日	45日	13.1P
国際会議室	40件	103日	29.6%	103件	199日	57.3%	63日	96日	27.7P
中会議室	218件	358日	34.3%	309件	589日	56.6%	91日	231日	22.3P
小会議室	291件	741日	26.6%	472件	1,328日	47.8%	181日	587日	21.2P
大規模催事	218件	328日	31.4%	302件	609日	58.5%	84件	281日	27.1P
中小会議室のみの催事	329件	—	—	492件	—	—	163件	—	—
総合計	547件	—	—	794件	—	—	247件	—	—
来場者数	約85,200人			約438,800人			約353,600人		

※「大規模催事」の利用日数は、展示ホール、メインホール、国際会議室の延べ利用日数

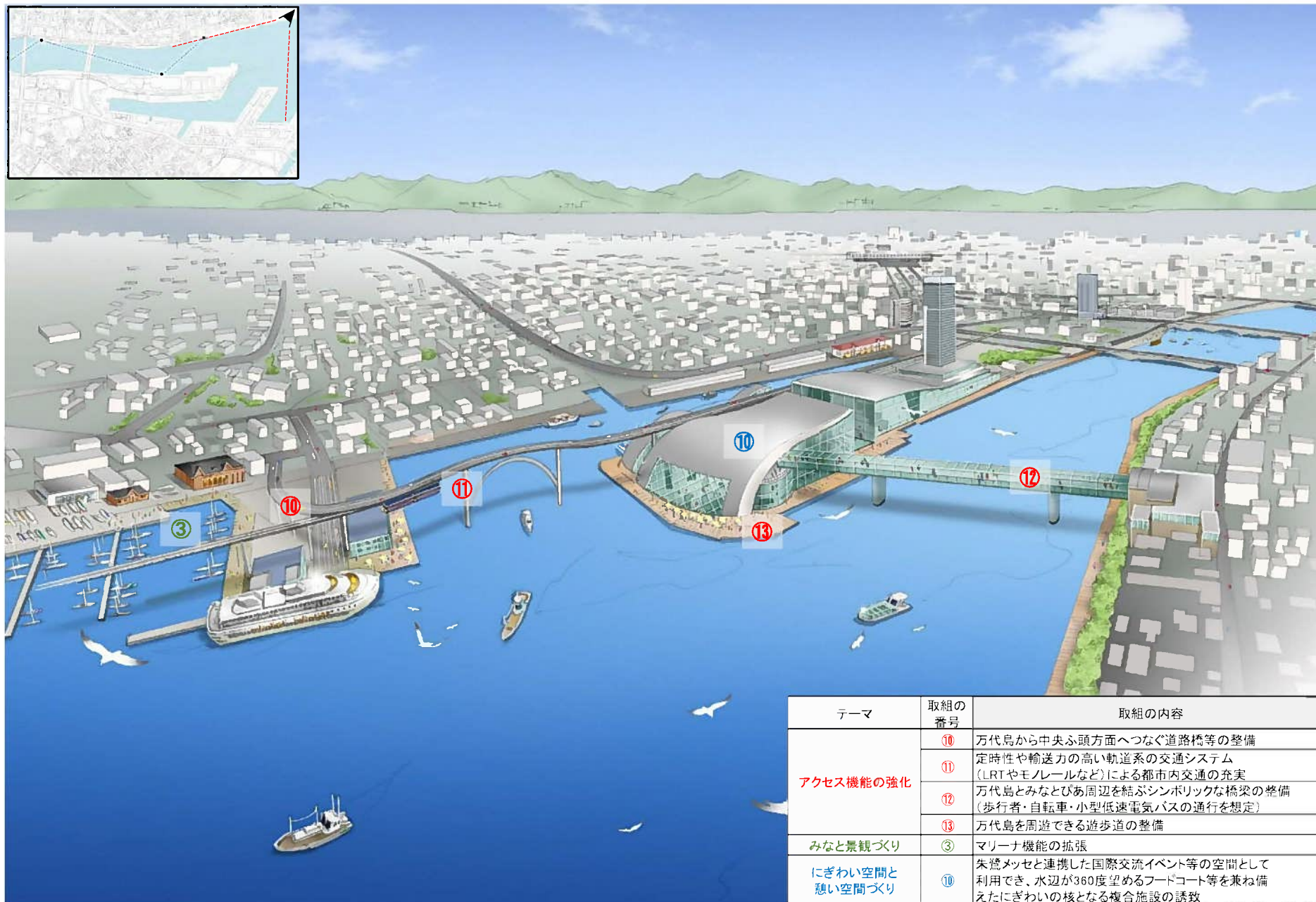
※「中小会議室のみの催事」の利用件数は公共空間を含む件数

※稼働率の小数点第2位以下は四捨五入

※稼働率は、利用可能日数をR元2度は348日、R3年度は347日として積算する。

## (参考) 長期取組のイメージ (案1)

※掲載内容はあくまでもイメージです。



出典：万代島地区将来ビジョン（2019年3月）、新潟県・新潟市・新潟西港・水辺まちづくり協議会 15



## 幕張イベントホールについて

山口委員 事例紹介

千葉市海浜幕張、幕張メッセの一部として構成

※MICE、イベントにも活用

(コンベンション施設の一つとして構成)

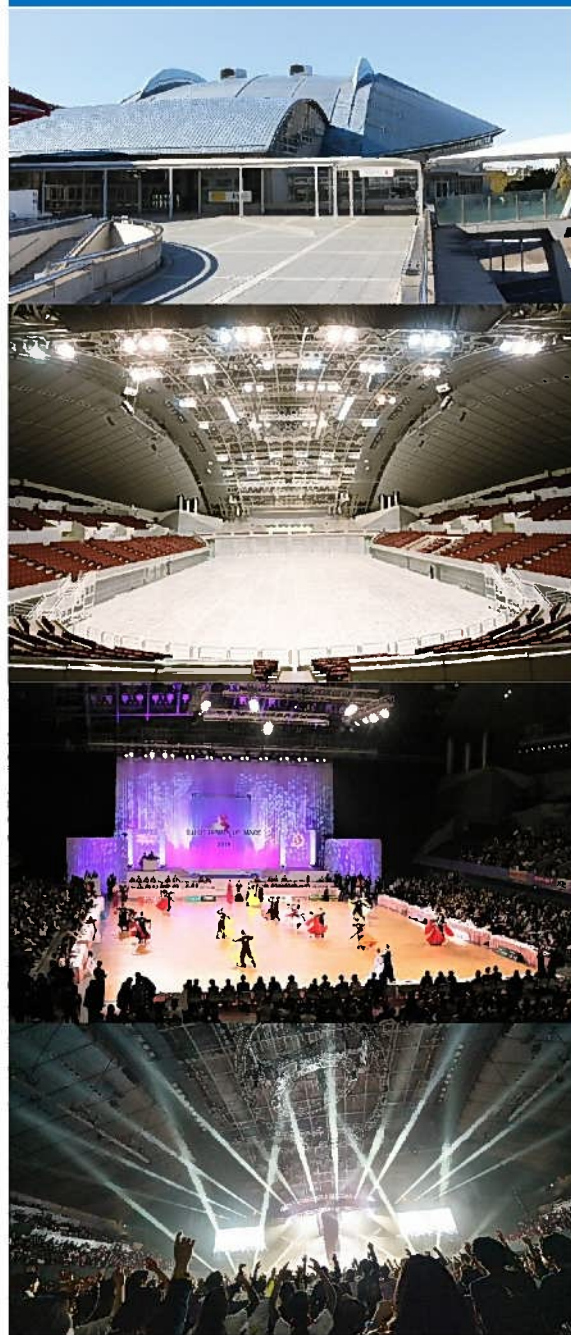
- ・アリーナ面積 3,098㎡ ・天井高 最高27m
- ・客席 固定客席 (ボックス席を含む) / 3,948席  
可動客席 / 912席 仮設席 / 約3,000席

※室内スポーツ利用の場合

- ・室内陸上競技：160 mトラック、直線走路
- ・バスケットボールコート：3面、
- ・テニスコート：3面、
- ・バレーボールコート：3面、
- ・ハンドボールコート：1面



出典：幕張メッセホームページ





## 1 事業の目的

等々力緑地は、緑と水のうるおいの空間を有し、良好な都市環境を形成するための重要な役割を担うとともに、多数の運動施設、市民の憩いの場など多面的な機能を有する市民に親しまれている総合公園です。

一方、施設の老朽化や防災対策の充実、社会環境の変化への対応など、新たな課題が顕在化していることから、令和4年2月に等々力緑地再編整備実施計画を改定し、等々力緑地の目指すべき将来像の表現に向け、緑地の再編整備と管理運営を含めた一体の事業としてPFI法に基づく事業手法を活用して実施するものです。

## 2 事業の概要

- ・事業名 等々力緑地再編整備・運営等事業
- ・事業予定地 川崎市中原区等々力1番ほか
- ・事業区域面積 約36.6ha（下水処理施設上部区域等、6.9haを追加整備し、43.5haとする予定）
- ・事業方式 民間事業者が本施設の設計及び建設を行った後、市に本施設の所有権を移転し、事業期間の終了までの間、本施設の運営及び維持管理を行う方式（BTO方式）、及び民間事業者が本施設の改修を行った後、事業期間の終了までの間、本施設の運営及び維持管理を行う方式（RO方式）
- ・事業期間 契約締結日から令和35年3月31日まで
- ・事業内容 統括管理業務、整備業務、維持管理業務、運営業務、自主事業
- ・整備対象施設 球技専用スタジアム、（新）陸上競技場、（新）とどろきアリーナ、スポーツセンター、プール、ストリートスポーツパーク、アクティビティループ（園路）、キッズパーク（子どもの遊び場）、インクルーシブパーク、芝生広場、親水空間（レインガーデン等）、植栽、駐車場、自由提案施設（飲食、物販等）等



## 3 契約の概要

- 契約の相手方 川崎市中原区小杉町3丁目472番地  
川崎とどろきパーク株式会社  
代表取締役 小井 陽介  
（等々力緑地再編整備・運営等事業のために設立した特別目的会社）
- ・設立 令和5年1月13日
- ・資本金 2億2,500万円
- ・出資者 東急株式会社、富士通株式会社、丸紅株式会社、オリックス株式会社、株式会社川崎フロンターレ、グローバル・インフラ・マネジメント株式会社、大成建設株式会社、株式会社フジタ、東急建設株式会社
- ・契約の方法 総合評価一般競争入札
- 契約金額 63,255,972,382円（消費税及び地方消費税を含む）
- 契約期間 令和5年3月31日～令和35年3月31日

## 4 事業の経過

- 令和4年2月 等々力緑地再編整備実施計画の改定
- 令和4年4月25日 総合評価一般競争入札公告
- 令和4年10月31日 ヒアリング、最優秀提案者の選定
- 令和4年11月8日 落札者の決定
- 令和5年3月31日 事業契約の締結

※落札者の決定にあたっては、学識経験者等で構成される「等々力緑地再編整備に関する民間事業者選定部会」を設置し、当部会における審査結果を踏まえ、決定

## 5 完成イメージ



※今後の調査設計の進捗に伴い、変更となる可能性があります

## 6 今後のスケジュール ※今後の調査設計の進捗に伴い、変更となる可能性があります

内容 / 年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	~	R34 (2052)
環境影響評価手続き	[Progress bar]								
調査・設計	[Progress bar]								
整備工事（建築物等）				[Progress bar]					
整備工事（公園基盤）				[Progress bar]					
維持管理・運営	[Progress bar]								

区名	大学名	屋内	屋外	備考
北	新潟医療福祉大学	体育館（3）、野球練習場 走路、投てき練習場	硬式野球場、陸上競技場 テニスコート	
東	新潟県立大学	体育館	グラウンド	
中央	新潟大学 旭キャンパス	体育館	グラウンド テニスコート	
	日本歯科大学	体育館	グラウンド テニスコート	
秋葉	新潟薬科大学	体育館	グラウンド テニスコート	
西	新潟大学 五十嵐キャンパス	体育館（3）	野球場、球技場（2） 陸上競技場、テニスコート	
	新潟工業短期大学	体育館	グラウンド	
西蒲	新潟国際情報大学	体育館	グラウンド テニスコート	



	吹田サッカースタジアム “寄付でつくられたサッカー専用スタジアム”	FLAT HACHINOHE “民間がつくり公共が借りるアリーナ”	長崎スタジアムシティプロジェクト “スポーツ×ビジネス 民間による地域創生”
施設写真			
施設概要	<p>面積 敷地90,065㎡ 延床63,909㎡ 観客席 39,694 付帯施設 V I Pルーム あり 飲食・物販 飲食販売・レストラン グッズショップ その他 パーティー、ウェディング スタジアムツアー</p> <p>ホームチーム ガンバ大阪（J1）</p>	<p>面積 敷地15,000㎡ 延床7,200㎡ 観客席 固定席1,550 最大収容力5,000 付帯施設 V I Pルーム あり 飲食・物販 設置可能（常設は無し） その他 劇場型照明（センタビジョン） プロジェクションマッピング</p> <p>ホームチーム 東北フリーブレイズ（アイスホッケー） 青森ワッツ（B2）</p>	<p>面積 敷地74,762㎡ 延床176,346㎡ 観客席 スタジアム20,000 アリーナ5,000 付帯施設 V I Pルーム あり（ホテル客室兼用） 飲食・物販 あり その他 商業施設、オフィス、ホテル 駐車場など</p> <p>ホームチーム V・ファーレン長崎（J2） 長崎ヴェルガ（B3）</p>
事業概要	<p>事業スキーム 大阪府の土地を貸借し、スタジアム建設 募金団体が建設し、竣工日に同団体が 吹田市に寄付、ガンバ大阪が指定管理者 として運営・管理。</p> <p>事業主体 スタジアム建設募金団体、 株式会社ガンバ大阪</p> <p>所有者 土地 大阪府 建物 吹田市</p> <p>整備方法 寄付を主たる財源とし、募金団体主導で 整備</p> <p>管理運営方法 株式会社ガンバ大阪が指定管理者の指定 を受けて管理運営</p> <p>行政の役割支援 長期の指定管理期間（約48年）、 土地の貸与（有償）、周辺インフラ整備</p>	<p>事業スキーム 民間企業が市有地を無償貸借し、自らの 資金調達で興行用アリーナを整備・管理 運営。市は年間2,500hの利用枠を30年間 にわたり借受け。</p> <p>事業主体 クロススポーツマーケティング（株）</p> <p>所有者 土地 八戸市 建物 XSM FLAT八戸(株)</p> <p>整備方法 XSM FLAT八戸が独自に資金調達して整備</p> <p>管理運営方法 ゼビオグループの XSM FLAT八戸が施設を 所有し、クロススポーツマーケティングが 施設の運営・営業を行う</p> <p>行政の役割支援 土地の貸与（無償）、年間2,500時間の 公共利用枠を借受ける対価として、 年間1億円×30年間の使用料を支払う</p>	<p>事業スキーム (株)ジャパネットホールディングスが施工整備、土地建 物を所有。同社のグループ会社が維持管・ 運営を行う。</p> <p>事業主体 (株)ジャパネットホールディングス (株)リージョナルクリエーション長崎</p> <p>所有者 土地建物 (株)ジャパネットホールディングス (株)ジャパネットホールディングスが民間事業で整備</p> <p>整備方法 (株)リージョナルクリエーション長崎が 維持管理・運営を行う</p> <p>行政の役割支援 民間都市再生事業の認定事業、協議会や 検討推進チームを組成してプロジェクトを サポート</p>
参考ポイント	<p>○建設費だけでなく、ランニングコスト（大規模修繕費の 積立を含む）も市の負担ゼロ。</p> <p>○利用料金から運営・管理費を捻出。利用料金には広告用 看板・ネーミングライツを含む。</p>	<p>○公共利用枠は稼働率の低い平日昼間に充て、学校体育や行 政イベント、市民等で共有利用。</p> <p>○アイスリンクをベースとしながら、断熱付フロアを敷設す ることにより、アリーナスポーツやコンサート・コンパ ンションも開催可能。</p> <p>○機能的で魅力的であることを追求。</p>	<p>○長崎駅から徒歩10分のまちなかスタジアム・アリーナ。</p> <p>○スタジアム・アリーナ・商業施設・ホテル・オフィス等を備 える複合施設であり、収益確保の方策を具体的に検討。</p> <p>○スタジアム整備による地域課題の解決（雇用・集客・地域活 性）など周辺地域へもたらす経済的・社会的効果を検討。</p>

# 都心のまちづくり【「にいがた2 km」の覚醒】

～市民とともに「かわ・まち・みなと」で紡ぐ過去から未来への成長エンジン～

資料 9



## 1. 歴史の継承

- 江戸時代には、北前船の最大の寄港地となるなど、人・物・文化が交流する日本海側最大の湊町として繁栄し、幕末の開港五港にも選ばれた。その風情や趣は現在に受け継がれている。
- 日本海側初の特定重要港湾の指定や、地方空港初の国際空港指定、上越新幹線の開通や、高速道路網の整備など、産業や交通のインフラ整備が着実に進められてきた。
- 2007年には本州日本海側で唯一の政令指定都市となり、さらなる拠点性の向上に向けた施策を推進してきた。

## 2. 本市の現状・課題

- ① 新潟駅周辺整備事業の進展
- ② 都心エリアで民間開発の兆し
- ③ 若い世代の県外流出と人口減少
- ④ 老朽化したビルの更新の停滞
- ⑤ 進出企業のニーズを満たすオフィス床の不足

## 3. 時代の要請

- ① ウィズコロナ・アフターコロナへの対応
- ② SDG s (持続可能な開発目標)の実現
- ③ ゼロカーボンの推進 (脱炭素社会の実現)
- ④ デジタル化の進展

## 4. 【「にいがた2 km」の覚醒】へ

みなとまち新潟を象徴する信濃川と萬代橋から広がる「都心エリア」において、高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民の皆様と一体で取り組むことで、『緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア』を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、『本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていく取組を推進。

## 5. 都心のまちづくり基本方針 三本の柱

- I. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり
- II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる  
新たな価値の創造
- III. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

## 6. 基本方針における推進項目

基本方針

### I. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり

官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及。

推進項目

- ① 都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進 (都市再生緊急整備地域の活用)
- ② 戦略的な企業誘致の推進
- ③ 産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化
- ④ 歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出
- ⑤ 観光資源を活かした交流人口の拡大

基本方針

### II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造

都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり。

推進項目

- ① 「新潟の食と花」の魅力発信
- ② 「儲かる農業」の推進
- ③ 新たな価値やビジネスが創出される環境づくり
- ④ 観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】

基本方針

### III. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり。

推進項目

- ① 都心の水辺空間の魅力をも十分に活かした賑わいの創出
- ② くつろげる 歩いて楽しい緑豊かな都市空間の実現
- ③ 都心における各エリアの特性を活かした  
良好な都市景観の形成



## 現状

- 鳥屋野潟南部地区は年間約300万人の来訪者が集まる交流エリア
- そのうち、スタジアム関連には約60万人の来訪者

しかし、周辺に立ち寄る施設や時間を過ごす施設が不足



## 交流拡大を目的とした開発を検討

- スタジアム等と連携し、イベントの余韻を楽しみながら来訪者の滞在時間を延伸する施設
- 新潟の食やみなとまち文化等の魅力発信により、都心エリアをはじめとした8区などへ観光誘導する施設
- 広域のネットワークにより新潟の地産品等をPRし、非日常の雰囲気や取扱い商品の特殊性により、市外・県外など広域から集客する施設\*
- 都心エリアの消費需要をはじめ、地域の多様な物流需要に対応する施設\*

## 鳥屋野潟南部地区の防災機能を補完

- 近接する広域避難場所や一時避難場所への迅速な物資提供などによる防災体制の強化

\* 防災協定（物資・スペース提供など）を締結予定

地域未来投資促進法基本計画の変更、地区計画策定、県にぎわい条例の対応



スタジアム・県立公園等との相乗効果

住居・交流拡大ゾーン

周辺と調和した住居系の開発を検討

8区（市内全域）への誘導・連携

災害時に連携

広域集客・広域PR

\* 上記はイメージであり、立地する施設が決まったものではありません




[ツイートする](#)
[シェアする](#)

## 復興のシンボル「Jヴィレッジ」

サッカーのナショナルトレーニングセンターである「Jヴィレッジ」は、東日本大震災が発生した後、福島第一原子力発電所事故の対応拠点として利用されていたが、2018年7月、新たに生まれ変わって再始動した。

福島県東部、太平洋に面した楡葉町にある「Jヴィレッジ」は、1997年、日本初のサッカーのナショナルトレーニングセンターとしてオープンした。2002年に日本と韓国で開催されたFIFAワールドカップでは、サッカーアルゼンチン代表チームのトレーニングキャンプ地となった。

また、2011年3月11日に東日本大震災が発生した後は、東京電力の福島第一原子力発電所事故の対応拠点となった。株式会社Jヴィレッジ事業運営部の高名祐介さんは、当時の様子についてこう語る。

「事故直後からJヴィレッジは、事故対応を行う自衛隊、消防、東京電力などの関係者が集合する拠点となりました。皆さんはここで準備を行い、バスで事故現場に向かったのです」

敷地には作業員の寮が建設され、芝生のフィールドには砂利が敷かれて駐車場となったことで、震災以降Jヴィレッジは休業となっていた。

再開のきっかけとなったのは、東京が2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市として決まったことだった。2015年1月に福島県は「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画を策定し、オリンピック・パラリンピックの開催前に、復興のシンボルとして、Jヴィレッジを再開することを目標として定めた。また、Jヴィレッジの新たな使命として、①福島県の復興の姿を国内外に発信する、②地域の復興・再生をけん引する、③スポーツの振興に貢献する、④トップアスリートを育成する、⑤地域の人々の健康づくりに貢献するという大きな5本の軸を立て、再開に向けて動き出した。

そして、復旧工事の後、2018年7月28日、Jヴィレッジは7年4か月の休業期間を経て再始動した。記念式典では、日本サッカー協会名誉総裁の高円宮妃久子殿下、福島県知事、サッカー関係者や福島県民など約1000人が集まり、Jヴィレッジの復活を祝った。

総敷地面積約49haの新生Jヴィレッジには、観客席の設けられたスタジアム1面、天然芝のピッチ7面、人工芝のピッチ2面に加え、屋根が付いた全天候型練習場が整備さ

出典：政府広報オンラインページ

# 第 3 回 新潟市スポーツ施設の未来構想会議

～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

## 配布資料

【日 時】令和5年9月21日（木）14時30分～  
【会 場】白山会館 2階 胡蝶

## 第2回会議での主な意見

## 3つのエリア活用パターン

- 白山エリア
  - ・市陸市体跡地に**球技専用スタジアム**を。
  - ・やすらぎ提とスポーツが一体となった使い方を。
- 鳥屋野潟北部エリア(現運動公園)
  - ・市陸の代替として**トレーニング特化型(医科学支援や合宿含む)施設**を。
- 鳥屋野潟南部エリア
  - ・ビッグスワンでラグビーや陸上の国際大会等を今以上に誘致できる。
  - ・**アリーナならば複合的な使用**を。(コンサートなど)

## ～公園や緑との親和・商業施設との連携～

## 様々なスポーツができる鳥屋野潟南部集約パターン

- スポーツ施設で大会以外の日常は、**公園や緑**が思い浮かぶ。
- 施設に併設する飲食店などは通常営業し、イベント時に連携する発想で。
- スポーツ後に食事や映画、**日がな一日居れる**エリアを。
- 好きなときに運動をした後に飲食して、コミュニティが成立する、日常的に**スポーツクラブライフ**ができることは大事。
- 子どもたちが外で遊べないときでも利用できる施設を。
- **防災拠点**としては最適地だ。

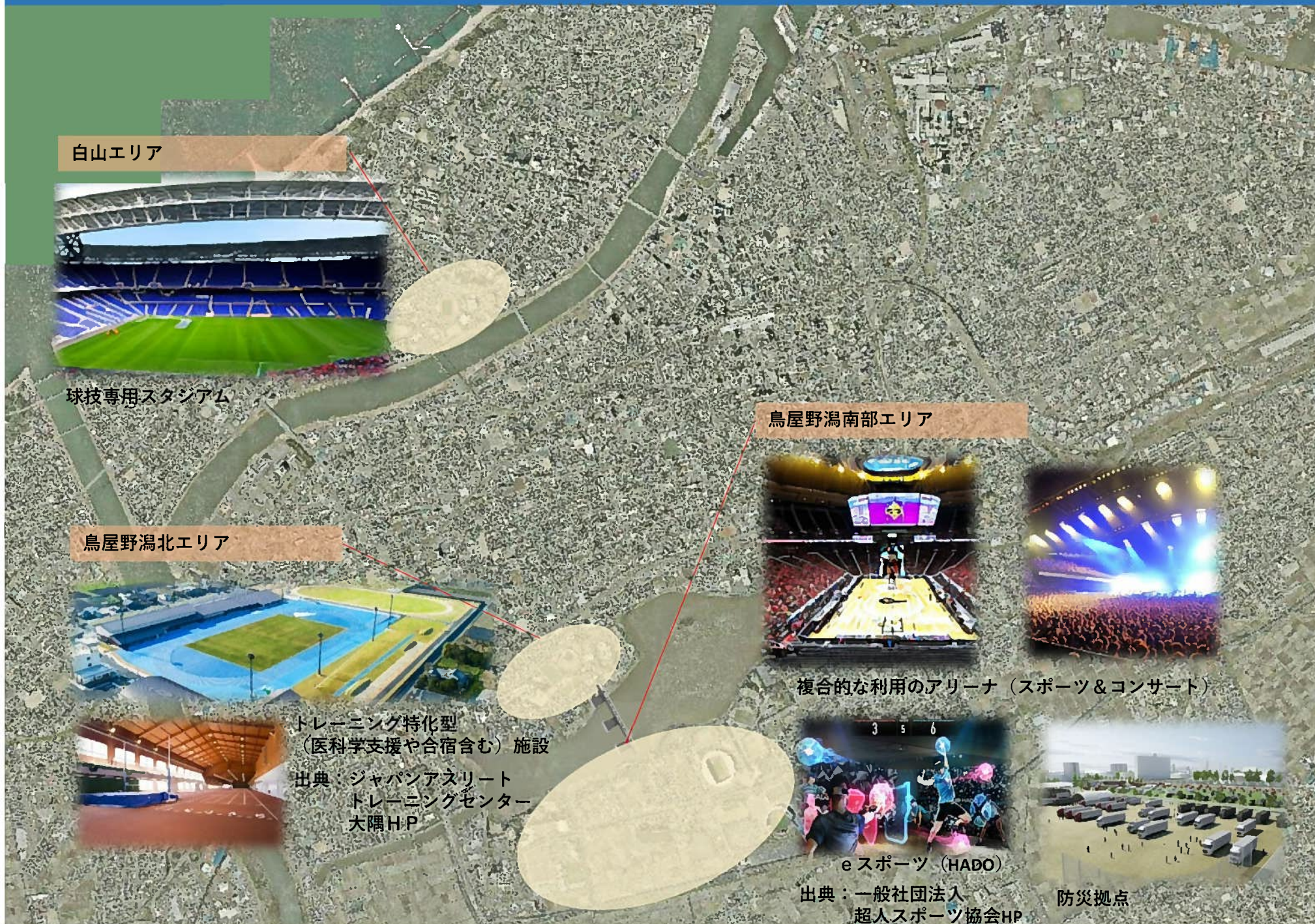
## ■ 追加議論が必要となる意見

- ◎ 10年後に着工するのか50年後の夢を語るのかで発言が変わる。
- ◎ スポーツの世界は変化が激しく、何年後のイメージは必要。
- ◎ 近隣他都市の施設・魅力の分析が必要では。

## ■ その他意見

- ・新たな施設を考えるにあたっては**収益性**を意識するべき。
- ・地域性を考慮しつつ日本一ではなく**日本初**の施設を目指す。
- ・未来に向けて、これから流行るだろうスポーツの意識も重要。





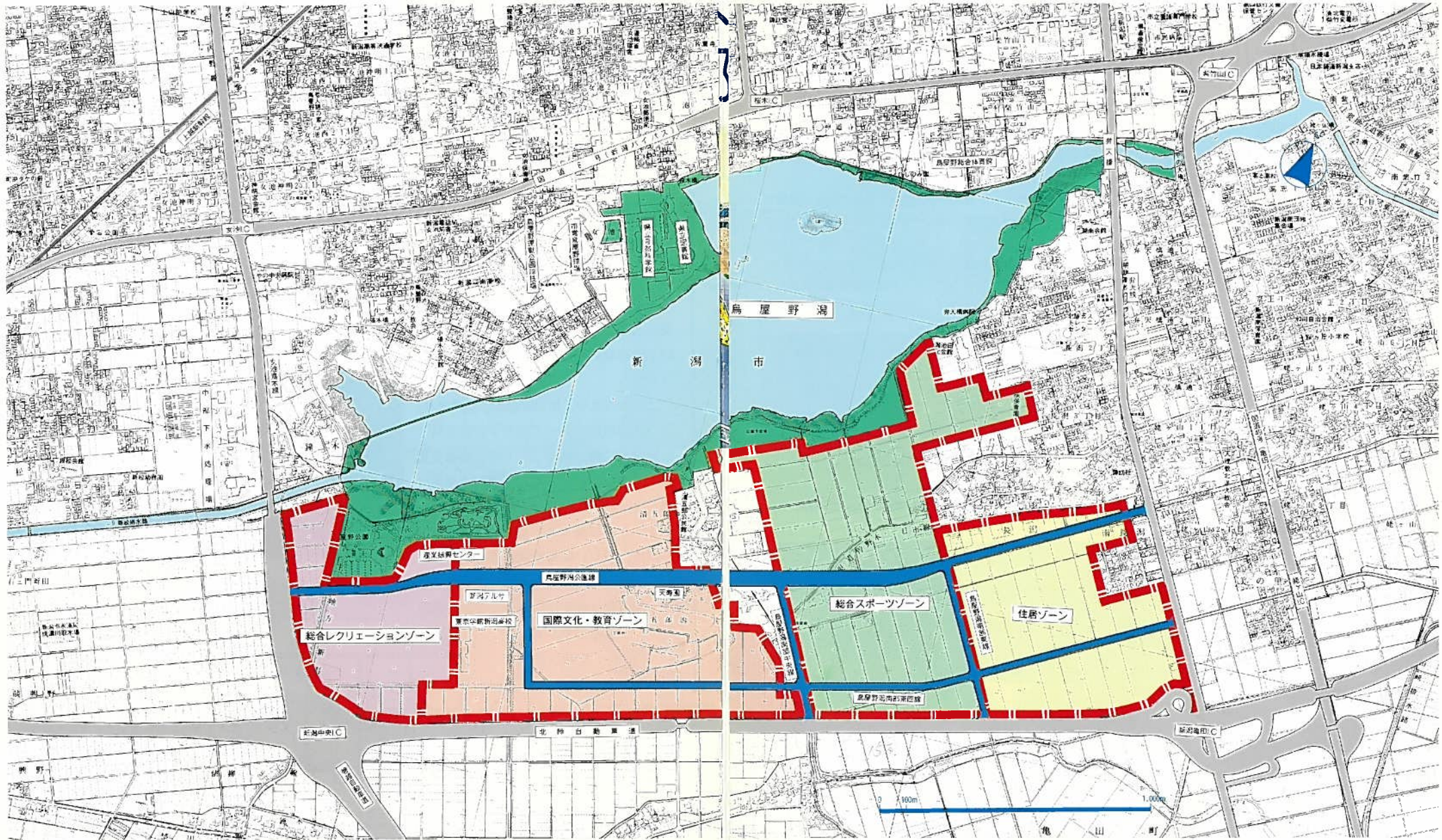






# 鳥屋野潟南部開発計画 土地利用ゾーニング図

資料 1-4



ゾーン名	面積	ゾーンの 内容
総合レクリエーションゾーン	37ha	レクリエーション機能等を取り込み、全体として賑わいあふれる大規模な商業空間の形成を図るゾーン
国際文化・教育ゾーン	86ha	文化・国際交流・人材育成・研究開発等の機能を取り込んだゾーン

ゾーン名	面積	ゾーンの 内容
総合スポーツゾーン	93ha	スポーツ・ヘルス機能等で構成するゾーン (駐立鳥屋野潟公園総合スポーツゾーンとして事業中)
住居ゾーン	54ha	優れたアメニティ機能の整備を活かした住宅地等の形成を図るゾーン
合計	270ha	



# 近隣県にあるアリーナについて（コート数・収容人数）

資料 2

新潟県	新潟市 東総合スポーツセンター ⊗バスケ2 バレー3 バド 10 ⊕バスケ1 バレー1 バド 4 固定 2,000 最大 3,120	新潟市 鳥屋野総合体育館 バスケ2 バレー2 バド 8 固定 1,000 最大 1,700	新潟市 秋葉総合体育館 バスケ3 バレー3 バド 12 固定 545	長岡市 アオーレ長岡 バスケ3 バレー4 バド 14 固定 2,200 最大 3,600 Bリーグ本拠地	上越市 リージョンプラザ上越 バスケ4 バレー4 バド 16 固定 1,200 最大 3,500	魅力度 都道府県ランキング 2022 25位 観光行きたい # 23位
福島県	福島県（福島市） あづま総合体育館 ⊗バスケ3 バレー3 バド 15 ⊕バスケ1 バレー1 バド 6 固定 2,500 最大 3,700	福島市 福島市国体記念体育館 ⊗バスケ2 バレー3 バド 15 ⊕バスケ2 バレー2 バド 6 固定 630 最大 1,600	郡山市 郡山総合体育館 ⊗バスケ3 バレー3 バド 15 固定 2,500 最大 7,000 Bリーグ本拠地	いわき市 いわき市立総合体育館 ⊗バスケ2 バレー3 バド 12 ⊕バスケ1 バレー2 バド 4 最大 2,200		魅力度都道府県ランキング 2022 34位 観光行きたい # 39位
群馬県	群馬県（前橋市） ぐんまアリーナ ⊗バスケ4 バレー4 バド 16 ⊕バスケ2 バレー2 バド 8 固定 3,000 最大 9,000	高崎市 高崎アリーナ バスケ4 バレー4 バド 16 固定 3,000 最大 6,000	太田市 太田市運動公園市民体育館 バスケ3 バレー4 バド 12 固定 1,100 最大 2,000	太田市 太田市総合体育館 バスケ3 バレー3 バド 12 固定 3,000 最大 5,000 「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定 Bリーグ本拠地 日本最大級可動式センタービジョン		魅力度都道府県ランキング 2022 44位 観光行きたい # 42位
富山県	富山県（富山市） 総合体育センター ⊗バスケ2 バレー3 バド 10 ⊕バスケ2 バレー3 バド 6 固定 2,000 最大 3,000	富山県（砺波市） 西部体育センター ⊗バスケ2 バレー3 バド 10 ⊕バスケ2 バレー2 バド 6 固定 1,800 最大 2,600	富山市 総合体育館 ⊗バスケ2 バレー3 バド 12 ⊕バスケ2 バレー2 バド 6 固定 3,300 最大 4,650 Bリーグ本拠地	魚津市 魚津テクノスポーツドーム バスケ3 バレー3 バド 12 固定 2,100 最大 5,000		魅力度都道府県ランキング 2022 23位 観光行きたい # 22位
石川県	石川県（金沢市） いしかわ総合スポーツセンター ⊗バスケ4 バレー4 バド 16 固定 2,800 最大 6,000 ⊕バスケ2 バレー2 バド 8 固定 300 最大 1,000	金沢市 総合体育館 ⊗バスケ3 バレー3 バド 14 ⊕バスケ1 バレー2 バド 4 最大 2,300				魅力度都道府県ランキング 2022 10位 観光行きたい # 12位 ※市区町村魅力度ランキング 上位50市 金沢市（8位）
長野県	長野市 長野運動公園総合体育館 ⊗バスケ2 バレー4 バド 12 ⊕バスケ1 バレー2 バド 6 最大 1,700	長野市 ホワイトリング ⊗バスケ3 バレー4 バド 12 ⊕バスケ1 バレー2 バド 6 最大 5,000 Bリーグ本拠地	松本市 総合体育館 ⊗バスケ3 バレー3 バド 12 ⊕バスケ1 バレー2 バド 4 固定 3,600 最大 7,000			魅力度都道府県ランキング 2022 12位 観光行きたい # 17位

施設名称・プロジェクト名	施設用途	竣工	事業方式
エスコンフィールド HOKKAIDO	野球場	2023	民設民営
桜スタジアム（大阪市立長居球技場）	球技専用	2021	P F I (募金団体)
東大阪市花園ラグビー場	ラグビー専用	2018	従来型
ノエビアスタジアム神戸（神戸市御崎公園球技場）	球技専用	2020	P F I (R O)
F C 今治新スタジアム	サッカー専用	2023	民設民営
ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）	球技専用	2017	P F I (B T O)
長崎スタジアムシティプロジェクト	サッカー専用	2024	民設民営
京都府立京都スタジアム（サカスタジアム b y K Y O C E R A）	球技専用	2019	従来型

P F I 民間資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。	B T O方式	民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式。
	R O方式	施設を改修し、管理・運営する事業方式。所有権の移転はなく、地方公共団体が所有者となる方式。
	B T コンセッション 方式	民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転。事業者が管理者から与えられる運営権（コンセッション）に基づき、維持管理・運営を行う方式。

# 拠点化・活性化に寄与する施設と同類施設について(第2回会議での主な意見より)

デンカビッグスワンスタジアム		新潟市陸上競技場		鳥屋野運動公園 (球技場)	
開設年月日	平成 13 年 4 月 (築 22 年)	開設年月日	昭和 38 年 7 月 (築 60 年)	開設年月日	昭和 38 年 8 月 (築 60 年)
施設写真		保全対応	耐震補強済み 80年の耐用に備え修繕等の保全計画あり	H20.4月に人工芝張替	
施設写真				施設概要	陸上・サッカー (WE)・ラグビー ・ゲートボール  ・収容人数 18,500 人 ○競技場：第 2 種公認 400m×8 レーン ○補助競技場：250m×6 レーン ○雨覆トラック：直走路 110m×4 レーン ○トレーニング室
年間利用者 (H30 年度)	5 2 4, 4 4 8 人	年間利用者 (H30 年度)	2 3 6, 8 3 7 人	5 4, 1 5 0 人	
施設概要	陸上・サッカー (J1)・ラグビー  ・収容人数 42,300 人 ≪デンカビッグスワン≫ ○トラック：第 1 種公認全天候型 400m×9 レーン 国際陸上連盟が定める基準、CLASS2 認証 ○フィールド：天然芝 ≪デンカスワンフィールド≫ ○トラック：第 3 種公認全天候型 400m×8 レーン ○フィールド：天然芝				
施設のあり方	<p>★ 球技専用スタジアムの新設によって、ビッグスワンの有効利用が可能となり、ラグビーの試合や陸上の大規模大会を今以上に開催することができる。</p> <p>★ 中高生を中心とした日々の陸上トレーニング利用に応えるため、鳥屋野運動公園(野球場・球技場)跡地にトレーニング特化施設を新設。ここでは、スポーツ医科学支援や、併設された宿泊施設を利用した合宿も行われる。</p> <p>★ 新設する球技専用スタジアムとトレーニング特化施設を鳥屋野潟南部に集約することも。</p>				



# 拠点化・活性化に寄与する施設と同類施設について(第2回会議での主な意見より)

HARD OFF ECOスタジアム新潟		鳥屋野運動公園 (野球場)	
開設年月日	平成 21 年 7 月 (築 14 年)	開設年月日	昭和 38 年 8 月 (築 60 年)
施設写真		保全対応 H23 耐震診断で「地震に対し倒壊又は崩壊する危険性が高い」の判定 <b>建替えを前提</b>	施設写真 
年間利用者 (H30 年度)	212,298 人	施設概要	・ 収容人数 5,000 人 ○ センター 120m、両翼 97m、照明設備なし
施設概要	・ 収容人数 30,000 人 ○ グラウンド：センター 122m、両翼 100m、内外野とも人工芝 ○ 照明設備：プロ野球ナイトゲームに対応 ○ その他施設：スコアボード (LED方式)、大型映像装置 (430 インチ) ○ 付帯設備：屋内練習場 (約 1,000 m <sup>2</sup> × 2 面)	年間利用者 (H30 年度)	25,484 人
		施設のあり方	○ 市内で硬式野球の大会を開催できる 3 球場の 1 つ。(他は、西区：みどり森、西蒲区：城山) ○ 高校野球、社会人野球などアマチュア野球を中心に利用あり。 ○ ECOスタと車で 10 分程度のため、サブスタジアムとしての利用も便利。 ○ 新潟アルビレックスベースボールクラブがNPBファームリーグに参入した場合、ECOスタでの試合が増えるため、その影響で押し出される市民・県民チームの受け皿となり得る。
			<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px;">3つのエリア活用パターン</div> <div style="background-color: #8b4513; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px;">鳥屋野潟南部集約パターン</div> </div>

# 第4回 新潟市スポーツ施設の未来構想会議

～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

## 配布資料

【日時】令和5年12月1日（金）9時40分～

【会場】市役所本庁舎 6階 市議会第5委員会室



## 第3回会議での主な意見

## 3つのエリア活用パターン

■ 白山エリア **スポーツによるまちづくり・スポーツによる地域活性化**

- ・市陸市体跡地に球技専用スタジアムを。
- ・やすらぎ提とスポーツが一体となった使い方を。

■ 鳥屋野潟エリア **スポーツの活性化・余暇の充実**

## 北部エリア(現運動公園)

- ・市陸の代替としてトレーニング特化型(医科学支援や合宿含む)施設を。

## 南部エリア

- ・ビッグスワンでラグビーや陸上の国際大会等を今以上に誘致できる。
- ・アリーナならば複合的な使用を。(コンサートなど)

※ 北部と南部は一体として、子どもからお年寄りまで、健康づくりや余暇などを楽しめるような施設などを考えて盛り込んだらどうか。

## ■ 確認したこと

- ◎ 20年後に存在しているスポーツ施設の姿を想定して議論を進める。  
ただし、どの施設を、あるいはどの順番に実現するのは行政において決めるもの。

## ■ その他意見

- ◎ スポーツを活性化させるというよりは、スポーツをキーワードに新潟市のまちづくり、地域活性化をどう進めていくのかという観点が一番大事。
- ◎ 全国のスポーツ施設の成功事例や交通インフラの課題などを深堀できないか。

HARD OFF ECOスタジアム新潟		鳥屋野運動公園（野球場）	
開設年月日	平成 21 年 7 月（築 14 年）	開設年月日	昭和 38 年 8 月（築 60 年）
施設写真		対応	H23 耐震診断で「地震に対し倒壊又は崩壊する危険性が高い」の判定 市財産活用推進計画の施設再編案において「存続」の方針 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">建替えを前提</span>
		施設写真	
		現球場の規格	○収容人数 5,000 人 ○センター120m、両翼 97m、照明設備なし
年間利用者 (H30 年度)	212,298 人	年間利用者 (H30 年度)	25,484 人
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収容人数 30,000 人</li> <li>○グラウンド：センター122m、両翼 100m、内外野とも人工芝</li> <li>○照明設備：プロ野球ナイトゲームに対応</li> <li>○その他施設：スコアボード（LED方式）、大型映像装置（430 インチ）</li> <li>○付帯設備：屋内練習場（約 1,000 m<sup>2</sup>×2 面）</li> </ul>	現球場の現状・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 駐車場不足による利用者からの不満が多い。 現在地で駐車場を拡大するには、新たに用地取得もしくは運動公園他施設の廃止や移転が必要。</li> <li>② 大会時には渋滞を引き起こし周辺住民の迷惑となっている。 ECOスタは既に稼働率が高く、オイシックス新潟アルビBCのNPBファームリーグ参戦により、新球場は今以上に中小規模の大会を受け入れる役割を果たすと予想されることから、アクセス面など利便性の向上や渋滞対策が必要。</li> <li>③ 市内で硬式野球の公式戦が開催できる球場である。 これまでの大会誘致における本市の優位性は、球場数と立地によるものが大きく、維持することが望ましい。</li> <li>④ 3 塁側スタンド後方からボールが飛び出し、駐車車両や隣接商業施設に被害を及ぼすことがある。 現在地では緩衝地帯を設けることが難しく、スタンドを高くするなどの対策が必要。</li> <li>⑤ ナイターがない。東区と中央区のナイター設備付き野球場は打球飛び出し問題を抱えている。 新球場がナイターを備え利用を移すことで、問題が大きく改善する。ただし、現在地でナイター設備にかかる用地を用意するには、駐車場を減らす、あるいは運動公園他施設の廃止や移転をしなければならない。（駐車場を減らすことは①に矛盾）</li> </ol>







# エリア別の交通課題について

## 【白山エリア（球技専用スタジアムの新設）】

### 交通施策・交通インフラの視点

- マイカーの利用による混雑が懸念されるが、公共交通機関の利用促進により、十分な対策が可能。
- 越後線白山駅や市役所バスターミナルを利用し、大規模な旅客輸送を既存の公共交通機関で対応できる。
- 鉄道、バス、シェアサイクルなど、公共交通機関は充実している。
- 公共交通の利用促進を進める交通施策とも一致する。（来場者数が多い施設の場合、鉄道を中心とした集客が望ましい。）
- バリアフリー化の整備も一定程度進んでおり、現在策定中の計画（移動等円滑化促進方針）にも促進地区として位置付ける予定である。
- 周辺の渋滞対策や駐車場不足に対する検討が必要。

### 自由意見（その他の視点や所感など）

- マイカーを利用できない学生や高齢者なども施設を利用しやすいことに加え、既存の公共交通機関の利用者が増え、持続可能な公共交通の確保・維持につながる。
- 新潟市景観計画の特別区域や都市計画に定める風致地区にあたること、屋外広告物条例に基づく規制への対応が必要。屋外広告物の制限は「ネーミングライツ」の取組みとも関係が深い。
- 公共交通が充実しているエリアであるため、駐車場を整備される場合の容量については良く検討して欲しい。  
（渋滞対策や滞在時間の増加などの観点より、まちなかでは特に公共交通の利用を促進したいため）



## 【鳥屋野潟南部エリア（鳥屋野野球場の移転やアリーナの新設）】

### 交通施策・交通インフラの視点

- イベント時の渋滞が課題となっている現状に加え、周辺の大型商業施設利用者等による慢性的な渋滞が発生している。今後、大規模開発の計画もあり交通処理の課題がある。
- 想定される交通課題については、道路整備のみによる解消は難しく、病院の救急搬送や消防局の活動への影響も懸念される。
- 施設整備によって新たに見込まれる自動車交通や公共交通需要の影響などを検証し、エリアに関連する各管理者（道路、公園、交通、既存施設など）、運営者、交通事業者、イベント主催者等と交通に関する協議・調整を行う必要があるものとする。
- 主な公共交通機関はバスとなる。
- バスによる基幹公共交通軸を位置付けている。
- 一定の自家用車利用を想定する必要がある。
- バス運転士の数は今後も減少していくことが見込まれており、公共交通による輸送力の確保は課題である。

### 自由意見（その他の視点や所感など）

- 鳥屋野潟南部開発計画における土地利用ゾーニングのコンセプトを踏まえた検討をお願いしたい。
- 郊外（鳥屋野潟南部エリア）に集約するだけでは、まちなかの賑わいにつながらない。

# 第5回 新潟市スポーツ施設の未来構想会議

～「スポーツ×拠点性の向上」に向けて～

## 配布資料

【日 時】令和6年2月13日（火）10時00分～  
【会 場】白山会館 2階 胡蝶



## 第4回会議での主な意見

### 1 鳥屋野運動公園野球場の建替えについて

- 現在地での建替えは難しい。(狭あい、駐車場不足、ナイター照明が近隣住宅に与える影響)
- 大会誘致の視点で、設備を備えた野球場が容易に移動できるような、同じエリア内にあることはメリットが大きい。
- ECOスタと新球場、それぞれの役割・利用者・機能等を明確にしたうえで考える必要がある。
- 規模については、ECOスタのサブ球場という位置付けのなかで、硬式野球の公式戦を開催することができるレギュレーションを維持。
- 新球場は新潟独自として、野球場スタジアムの機能と、パークとして地域住民に利用してもらう機能を一体化するというのは面白いアイデア。

新球場は鳥屋野潟南部に移転する方向性が望ましい

### 2 建設や運営手法について

- 構想を具現化するために、新潟の地に適した推進体制、核となるエンジン・旗振り役を考える必要がある。
- 実施主体として県を交えたり、資金調達では金融機関や商工会議所といった経済界を巻き込み、さらに企業版ふるさと納税や個人からの寄付、クラウドファンディングを活用するなどの事例もある。

### 3 交通インフラについて

- 鳥屋野潟南部における交通インフラの課題は、渋滞が起きることによる地域住民の視点での課題なのか、それとも大会やイベントなどの来訪者の視点での課題なのかを明確に。
- 鳥屋野潟南部における交通インフラの課題に打開策を見出しながら、鳥屋野潟南部に新球場を移転する方向性が望ましい。

# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

引用先：危機管理防災局作成資料

## ○災害の概要

- (1) 発生日時 : 令和6年1月1日 (月) 16時10分
- (2) 震源 : 石川県能登地方
- (3) 規模 : マグニチュード 7.6 (暫定値)
- (4) 震源の深さ : 16km (暫定値)
- (5) 市内震度 : 震度5強 中央区、南区、西区、西蒲区  
震度5弱 北区、東区、江南区、秋葉区
- (6) 津波情報 : 1月1日 (月) 16時12分 津波警報 発表  
17時09分 津波到達 0.3m  
1月2日 (火) 1時15分 津波警報 解除、津波注意報 発表  
10時00分 津波注意報 解除
- (7) 避難情報 : 1月1日 (月) 16時12分 避難指示 (津波)  
1月3日 (水) 14時00分 避難指示 (土砂災害 西区19軒)

1/1 20:30時点	計	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲
開設避難所 (箇所)	288	37	22	43	20	42	47	38 (2)	39
避難者 (人)	14,187	1,011	2,044	4,584	78	79	94	5,876 (17)	421

※ ( ) 内は2月8日 8:00 時点



# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## ○本市の対応（概要）

月日	時間	対応
1/1	16:10	地震発生 新潟市災害対策本部設置（3号配備）
1/1	18:30	第1回災害対策本部会議 開催
1/1	21:30	第2回災害対策本部会議 開催
1/1	—	災害救助法適用
1/2	9:00	第3回災害対策本部会議 開催
1/2	15:00	第4回災害対策本部会議 開催
1/3	9:00	第5回災害対策本部会議 開催
1/9	9:30	第6回災害対策本部会議 開催
1/11	—	激甚災害法、特定非常災害特別措置法 適用
1/16	—	被災者生活再建支援法 公布（1日適用）
1/19	—	大規模災害復興法 適用
2/9	10:30	第7回災害対策本部会議 開催

# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## 1 ライフライン等の被害状況

ライフライン	発災後の状況	現在（2月8日 8:00現在）の状況
電気	市内各所で停電発生	全戸復旧（その後も気象状況などにより散発的に発生）
ガス	西区、西蒲区でガス漏れ	なし
上水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区、西区、江南区の一部で減断水、濁水が発生（1/1～）</li> <li>・水道管の漏水229箇所</li> </ul>	復旧（～1/8）
下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒埼地区のマンホールポンプ5箇所で一時的に異常高水位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急復旧完了</li> <li>・中央区、江南区、西区でマンホール一次調査（内目視調査）完了</li> <li>→二次調査（管路内TVカメラ調査等）を実施中</li> </ul>
電気通信	被害なし	被害なし
公共交通機関	高速道路：一時全線通行止め 鉄道：一時全線運転見合わせ バス：一部を除き通常運行	高速道路：通行可能 鉄道：通常運行 バス：通常運行
道路	市内各地で液状化による道路陥没や損傷：53箇所で通行止め	市内各地で液状化による道路陥没や損傷：6箇所で通行止め ：国県道 5箇所/市道 316箇所で被害



# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## 2 人的被害の状況

(2月8日 8:00現在)

	計	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲
死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重傷者	1	0	0	0	0	0	0	1	0
軽症者	21	0	4	5	2	0	3	6	1

(人的被害状況 詳細)

- ・重傷者：地震が発生し、セントラルモニタが足に落下し、足の指を骨折
- ・軽症者：地震発生時や避難時に転倒、物が上から落ち受傷 など

※石川県へ帰省中に罹災した死者1名（被害数については、石川県で掲載）

# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## ○建物被害：市内各地で建物の損壊が発生

＜本市の対応＞

### ➤建物の応急危険度判定（1月11日で終了）

地震発生直後に被災した住宅等からすぐに避難が必要かどうかを応急的に判定

### ➤罹災証明書・被災届出証明書の発行

住家について罹災証明書、住家以外について被災届出証明書の申請受付・発行

### ➤住宅の応急修理

屋根や窓などの被害に対し、ブルーシートの支給、または業者によるブルーシート等を用いた一時的な処置を支援  
また、日常生活に必要な最小限度の部分の修理や、市独自支援として、駐車場やカーポートなどの修理全般の支援を実施

### ➤応急住宅の提供

被災により住宅へ入居することが困難になった方を対象に市営住宅の無償提供や、民間賃貸住宅提供の募集を開始

### ➤家庭系災害ごみの無料搬入

各区の清掃センター等で災害ごみの無料搬入の受付

### ➤家庭で出た泥の回収

### ➤被災者生活再建支援金

「被災者生活再建支援法」に基づく、住宅が中規模半壊以上の世帯に対する支援金のほか、半壊以上の世帯に  
県・市が連携して支援金を上乗せ

### ➤家屋等の公費解体制度

被災した家屋等を所有者の申請に基づき、市が所有者に代わって解体・撤去する制度を実施予定

### ➤被害住宅建替・購入支援事業

住宅が中規模半壊以上で、住宅を建て替え・購入する方を支援

### ➤被災ブロック塀等撤去工事補助事業

危険な状況のブロック塀等の撤去工事費の一部を支援



# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

○道路被害：市内各地、特に西区で道路の液状化や地割れが発生

<本市の対応>

## ➤土砂・泥の処理

液状化などにより生じた土砂や泥を除去するための「土のう袋」を西区役所、西区の出張所や中央区役所などで配布するとともに、巡回による回収を実施

## ➤道路の修繕

パトロール等を実施し、優先順位が高いものから順次修繕を実施

## ➤私道災害復旧支援制度

車両等の通行が困難となった私道の原型復旧工事について全額支援

○下水道の被害：下水管の損傷によりトイレの水が流れにくくなる現象が発生

## ➤水道料金・下水道使用料の減免

罹災証明書で「一部半壊」以上の被害を受けた方、または地震による漏水で水道使用量が増加した方の、水道料金・下水道使用料を減免

○断水、濁り水の被害

・中央区、西区、江南区などで一部減断水や濁水が発生。宅地内漏水が多数発生

<本市の対応>

## ➤臨時の拠点給水所の設置

西区の複数個所に給水所を設置。市内の断水はほぼ解消したが、西区役所、黒埼北部公民館において当面の間、臨時給水所を設置

## ➤入浴施設の無料開放

自宅が被災して入浴ができない方のため、西区内の老人憩いの家（7か所）などについて無料開放

# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## ○広報・相談についての本市の対応

### ➤報道機関への情報発信、市HPでの広報、その他情報発信

報道機関への情報発信や市HPにて被害状況、本市での取り組みについて継続的に情報を発信

その他、にいがた防災メールや新潟市LINE公式アカウントやX（旧Twitter）で情報を発信

発信回数：にいがた防災メール 計24回、新潟市LINE公式アカウント 計19回、X（旧Twitter） 計87回

### ➤新潟市コールセンターでの電話相談

・発災後の相談件数は約2,000件

・相談の利便性を高めるため、電話回線を増やし、コールセンターの受付体制を拡充

### ➤各種相談窓口等の開設

#### ・被災相談窓口

1月24日より罹災証明書の交付や各種支援制度について相談・申請できる窓口として設置

2月1日～全区に窓口を設置

#### ・臨時開庁

西区役所、西出張所、黒埼出張所、中野小屋連絡所において窓口を臨時開庁し、各種相談を受付

#### ・士業等による相談窓口

弁護士や司法書士、行政書士による電話無料相談を実施

#### ・こころとからだの健康相談

各区役所において地震にともなうこころとからだの健康相談を実施

### ➤生活の困り事や各種支援策についてのお知らせ（チラシ）を配布

デジタルによる情報が受け取れない方にも情報が行き届くよう、多くの問い合わせが寄せられている

事項の問い合わせ先や各種支援策等をまとめたチラシを作成し、被害が大きかった地域を中心に配布



# 能登半島地震の本市の被害と対応状況

## ○その他の本市の対応

### ➤被災者の健康状況の確認

保健師を派遣し、被災された方の健康状況の確認を実施

### ➤災害ボランティアセンターの開設

1月3日より「新潟市西区災害ボランティアセンター」を開設  
活動人数：1,675人 活動件数：269件（主に土砂の撤去、家財などの運び出し）

### ➤防犯指導員による青パト警戒広報活動

車載スピーカーによる侵入、盗難や特殊詐欺等に対する呼びかけを1月4日から日中に実施

### ➤義援金・ふるさと納税の募集

市役所および区役所の窓口での受付や専用口座を開設し義援金を募集。また、被災者支援や復旧・復興に向けた事業への活用を目的として、ふるさと納税を通じた寄付金の募集を開始

### ➤市税・県民税の減免

災害による被害を受けた場合など、特別な事情がある場合に納める税額を減額する制度

### ➤各種事業者向け融資制度

被災により売上減少や資金繰りが悪化している中小企業者へ融資をする制度

# 本市スポーツ施設の被害状況

資料 3

区	施設	開館	被害状況
北区	北地区スポーツセンター	○	玄関タイルにクラック、多目的駐車場マンホール近辺の不陸
東区	下山スポーツセンター	○	エントランスタイル・プール槽内タイル・プールサイド・プール内壁のクラック数か所、外壁雨水配管の割れ
	中地区運動広場	冬季休業	野球場1塁側ダックアウト腰壁の破損
中央区	新潟市陸上競技場	△	サブグラウンドの一部に亀裂・液状化、駐車場不陸及び地割れ等
	新潟市体育館	○	機械室前石畳2か所陥没、機械室内地下ピットに地下水発生、フロア非常口軒下コンクリート片の落下等、内外壁にひび割れ
	新潟市アイスアリーナ	○	エントランスインターロッキングの一部隆起
	鳥屋野総合体育館	○	スプリンクラー貯水槽の漏水
	鳥屋野運動公園球場	×	外壁の一部にひび、グラウンド一部液状化・隆起、観客席の大部分の破損、ポンプ室傾き
	鳥屋野運動公園野球場	冬季休業	外壁の一部にひび割れ、バックネットワイヤーの部分断裂、外野フェンスの変形、外野芝生の隆起
	鳥屋野運動公園馬場	○	クラブハウス傾き、馬場の周囲の樹木が倒木の可能性あり
	西海岸公園市営プール	×	プール可動床の故障、天井の一部破損
江南区	横越総合体育館	○	職員玄関前地盤沈下、施設北側地盤沈下、芝生広場東側側溝のズレ
秋葉区	小須戸運動公園	○	野球場フェンスの基礎部ひび割れ、剥離
南区	白根総合公園白根カルチャーセンター	○	玄関前インターロッキングの一部陥没
西区	黒埼地区総合体育館	○	駐車場の一部液状化、廊下にひび割れ
	みどり森の運動公園野球場	冬季休業	野球場外野フェンスの傾き
	黒埼地区野球場		ライト側フェンス前 陥没
	寺地河川敷公園庭球場		テニスコートひび割れ
	善久河川敷公園庭球場		テニスコートひび割れ
西蒲区	西川総合体育館	○	外構の地盤沈下、点字ブロックグラつき
	中之口体育館	○	・体育館内壁、外壁複数個所にヒビ、亀裂 ・天井コンクリートに亀裂 ・松の木と杉の木が3本折れている(地震の影響かは不明)
	巻体育館	○	・内壁・外壁にヒビ(地震によるものかは不明) ・照明(水銀灯)5箇所不点灯(うち2箇所原因不明)
	漆山体育館	○	外壁にヒビ(地震によるものかは不明)
	岩室体育館	○	・外壁の一部欠落 ・2階フロアヒビ割れ ・一部の扉開閉がスムーズにいかない ・岩室体育館ステージ壁ボードの剥がれ
	岩室野球場	○	ライト側扉開閉がスムーズにいかない
	西川体育センター	○	アリーナ水銀灯1か所不点灯、側壁面亀裂、ギャラリー下部破損
	中之口野球場	○	ベンチのコンクリート壁の亀裂が広がる
	城山運動公園	○	ホッケー場倉庫の一部が落下
	スポーツパーク西川	○	館内壁面亀裂有り、水銀灯カバー外れ



# 鳥屋野運動公園野球場の被害状況



# 鳥屋野運動公園球技場の被害状況

